

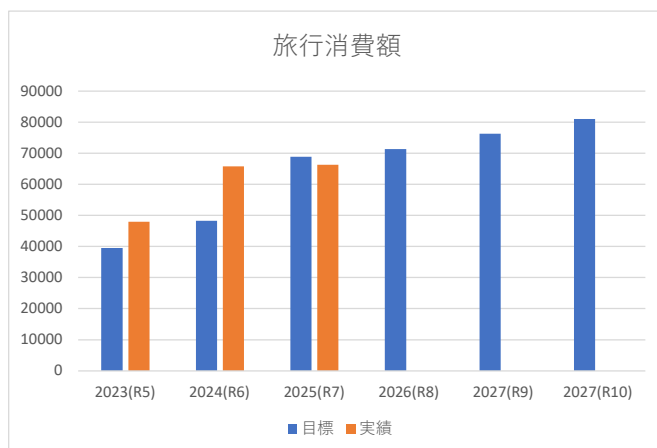
◀ DMO必須KPI目標・実績:令和7年度 ▶

旅行消費額（百万円）

	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2027(R10)
目標	39500	48300	68855	71300	76300	81000
実績	47990	65770	66306			

2025年の全国平均宿泊旅行単価は、観光庁によると72,412円/人、日帰り旅行単価は20,000円/人であった。これに比べると、伊勢市の旅行単価は宿泊単価が34,301円、日帰り単価が8,815円と依然半分程度となっており、単価の上昇が課題である。宿泊増のため平日の稼働率上昇に取り組むとともに、高付加価値の旅行商品等の消費行動の喚起が課題である。

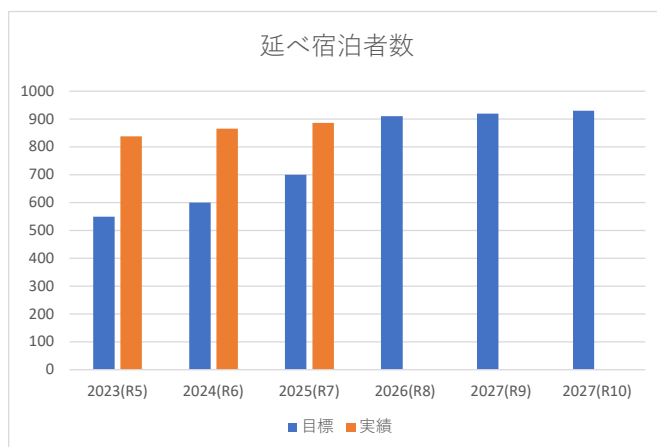
（なお、R7までは先の観光振興基本計画の目標値を記載していたが、R8からは伊勢市における観光地経営戦略プランの目標値を記載する。以下



延べ宿泊者数（千人）

	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2027(R10)
目標	550	600	700	910	920	930
実績	838	866	886			

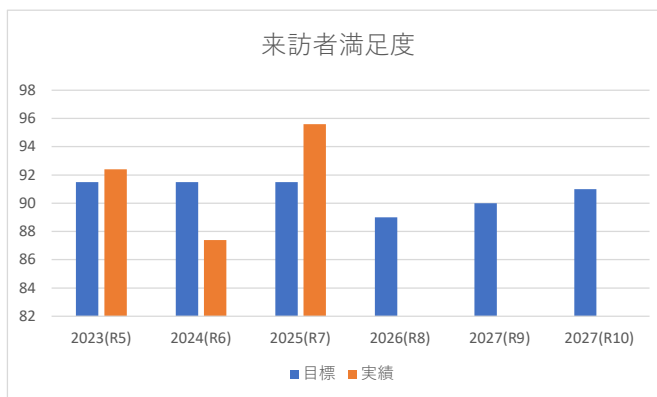
令和7年度は伊勢市の宿泊施設数70、収容人数は5,813人となっている。現在市内で新たな宿泊施設が建設されており、施設数は増加していく見込みであるが、それでも、鳥羽117施設、志摩152施設より少ないため、キャパシティの増加が課題である。また、鳥羽・志摩は観光客数の約36～37%が宿泊者数であるが、伊勢は16.5%程度である。観光客に伊勢旅行は宿泊という動機付けをしていくことが課題である。また、伊勢市内には高額な客室数が少ないため、消費額のところでも述べたとおり、平日の稼働率強化が課題である。



来訪者満足度（%）

	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2027(R10)
目標	91.5	91.5	91.5	89	90	91
実績	92.4	87.4	95.6			

令和7年度、来訪者満足度は非常に向上した。しかし、これまでのどの年度にも関わらず、「移動・交通」の満足度が1番低く、「情報・案内」の満足度が2番目に低いことは変わらないため、この部分が引き続き課題となっている。「移動・交通」のコソの情報発信に力を入れ、「情報・案内」ともに満足度を向上させる施策を検討・実施していく必要がある。



リピーター率（%）

	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2027(R10)
目標	82	83	77	78	79	80
実績	80	76.8	74.3			

もともと伊勢は参拝のリポート行動が伊勢観光となってきたが、インターネット等の媒体の発展により、平成25年の遷宮時は伊勢の魅力を実感的に発信することができた。そのため若年層も含めて一層、伊勢は参拝と観光の地として認識され、リピーター率が増加してきたかに見えていた。一方R8・9年の御木曳行事の報道等により、初めて伊勢に興味を持ち訪問してくれる方も増加し、リピーター率としては増加しない結果となった。この点について、せっかく増加した初訪問者には、定期的な訪問を促す働きかけを目指していく。

